

# 志小安全・防災だより



H30.5.22 NO.9  
安全・防災担当：早坂 潤

## 防災南三陸広報でも流れました！クマの出没注意！

ニュースでも報道されていますように、今年もクマの出没が相次いでいます。先日は、防災南三陸広報でもクマ出没注意が呼び掛けられていました。今の時期、山菜採りなどに出掛けクマと遭遇し大けがをしたり、尊い命が奪われたりしている話も聞きます。従来、ヒグマとは違い「ツキノワグマは人間を襲わない」と言われてきましたが、近年変わってきているようです。今回は、ツキノワグマの特性についてお話しいたします。

### 【ツキノワグマ】

体長 120～180 cm。体重オス 50～120 kg，メス 40～70 kg。胸部に三日月の形やアルファベットの「V」字状の白い斑紋がある（中にはないものもいる）。森林に生息する夜行性の動物で、昼間は樹洞や岩の割れ目、洞窟などで休むが、果実がある時期は、昼間に活動することもある。雑食で、果実、芽、小型の脊椎動物、昆虫、動物の死骸などを食べる。

### <クマが人を襲う理由>

#### ① 不意の遭遇に驚いて

人間がクマに会ったらびっくりするように、クマも人間に会うとびっくりします。これを避けるために「鳴り物」などで音を出して行動するとよいです。普通のクマは音を聞きつけて、遭遇する前に自ら去って行きます。

#### ② 母グマが子グマを守るため

子グマを見たら絶対に近づいてはいけません。側に母グマがいる確率が非常に高く、子グマを守るために襲ってくる可能性が大いにあります。特に、母グマの許容できない範囲内（20m以内）に人間が入った場合、母グマが攻撃してきます。

#### ③ 人間が邪魔で排除するため

人間が持っている食べ物を奪おうとしたり、クマの餌場に人間が入ったりすると排除しようとして襲ってきます。冬眠開けで飢餓状態のクマが自分の餌場を守るために攻撃してくることもあります。

#### ④ 人間を食べるため

人間を食料とみなしている危険なクマもいます。何らかのきっかけで最初から食料とみなしている場合もありますが、他の理由（排除、戯れ）で人を襲っている最中に人を食べ物とみなす場合もあります。

#### ⑤ 人間に恨みをもっているため

猟師が打ち損じたり、目の前で子グマの命を奪われたりした親グマは、人間に恨みもち、凶暴で気が立っています。



暖かくなってきて、クマ以外にも山の動物が所々に出始めています。地域の方からの情報によりますと、強力な毒を持ったヘビ（マムシやヤマカガシ等）の姿も見られ始めたとのこと。学校では、登下校中や遊んでいるときに動物やヘビなどがいたらいたずらをしないように話をしています。ご家

